

令和 2 年度 事業報告書

I. 事業の状況

(1) 大学等における材料の研究に対する助成 (定款 第4条(1))

令和2年9月7日開催の選考委員会において採択された一般助成12件、及び特別助成2件(新規1件、継続1件)を9月23日の第35回理事会に答申いたしました。答申どおりの内容で、総額1,060万円の研究助成を行う承認を得て、令和3年3月に助成致しました。

助成テーマの募集および選考審査ならびに決定の過程は次のとおりです。

[第35回材料科学研究助成金(一般助成制度、及び特別助成制度)]の募集を4月15日に行ない7月14日に締切りました。募集要項は、直近4年間に応募があった大学等、及びホームページをご覧になって要請された先生方へ送付しました。

広く助成金を贈呈できるように、応募は一般助成制度、及び特別助成制度各々について各大学の学部・大学院大学、及び付属研究所などの機関等から各1件以内としました。

25大学42機関の工学/理学の学部、大学院研究科、附属研究所、及び1工業高等専門学校より、一般助成制度へ37件、及び特別助成制度へ6件の応募がありました。

9月7日の選考委員会において金属材料、材料物性、無機・セラミックス材料、有機・高分子材料の部門別に選考を行いました。なお、鉄鋼・鋳鉄材料へ3年間研究助成する特別助成制度への応募テーマは一般助成制度の金属材料分野と一緒にっております。

応募があった43件の中から、一般助成制度12件、特別助成制度1件の研究を選出しました。これ以外に平成30年度採択の特別助成制度1件について、研究進捗に関する報告内容を審議の結果、助成継続を決議しました。

9月23日の第35回理事会に選考結果を答申し、承認を得て令和3年3月に助成を行いました。

なお、採択者に対して11月13日にオンラインで贈呈式を行いました。

令和2年度研究助成金を贈呈された研究者は以下の14名です。

(a) 一般助成 : 80万円/年×1年間 (所属は研究助成応募時)

分野	助成研究テーマ名	研究者	助成額 (万円)	
金属材料	転位内のマルチフェロイクスが創発する力学機能	京都大学大学院工学研究科 材料工学専攻	助教 新津 甲大	80
	高温腐食環境下における耐熱鋼のオンサイト評価法	東北大学 金属材料研究所 分析科学研究部門	准教授 今宿 晋	80
	その場反応型付加製造法による鉄鋼材料と樹脂の高強度アンカー接合	名古屋大学 大学院工学研究科 物質プロセス工学専攻	助教 鈴木 飛鳥	80

分野	助成研究テーマ名	研究者		助成額 (万円)
材料物性	ナノ電気化学イメージングが拓く二次元材料の構造最適化	東北大学 材料科学高等研究所 材料物理グループ	准教授 熊谷 明哉	80
	機械学習によるプローブ顕微鏡測定の高速度・高効率化	金沢大学 理工学研究域 数物科学系	准教授 吉田 靖雄	80
	フレキシブル太陽電池の実現に向けた金属/多結晶GeSn接合の低温形成技術	九州大学 グローバルイノベーションセンター	学振特別研究員 茂藤 健太	80
無機・セラミックス材料	ナノスケールの海島構造を有する銅硫化物系 n 型熱電材料の創製	北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科	助教 高橋 麻里	80
	大気中で安定かつ高活性な金属リン化合物ナノ粒子の創製	大阪大学 大学院基礎工学研究科 物質創成専攻	助教 山口 渉	80
	透明セラミックスを用いた高効率なドシメータ材料の開発	奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科	助教 加藤 匠	80
有機・高分子材料	Pd触媒移動現象を利用した半導体高分子材料の精密合成と有機エレクトロニクス材料への応用	山形大学 大学院有機材料システム研究科 高分子合成化学分野	教授 東原 知哉	80
	光照射による位置選択的接着を実現する共役系高分子粒子の創出	大阪工業大学 工学部 応用化学科	教授 藤井 秀司	80
	環状全π共役系高分子を利用した新奇光一電子・磁性・スピン材料開発	北海道大学 大学院工学研究院 応用化学部門	准教授 山本 拓矢	80

(b) 特別助成 : 鉄鋼・鋳鉄材料 50万円/年×3年間 (所属は研究助成応募時)

助成研究テーマ名	研究者		助成額 (万円)
【令和2年度採択】新規			
鋼のせん断変態における組織形成過程の3次元的理解	東京大学 工学系研究科 マテリアル工学専攻	准教授 南部 将一	50
【平成30年度採択】継続			
鉄鋼材料への高機能溶融亜鉛合金めっき皮膜創製とその構造制御	名古屋大学 工学部・工学研究科 物質プロセス工学専攻	准教授 高田 尚記	50

(2) 材料に関する研究者の国際交流に対する助成 (定款 第4条(2))

[令和2年度 研究者の国際交流助成事業] の応募を7月15日に行ない8月10日に締切りました。応募があった以下の1件は助成に値するとの審議結果を、選考委員会(9月7日)の総意として、第35回理事会(9月23日)に答申しました。

理事会承認を得て、令和3年3月に、下表のように総額15万円を助成しました。
 なお、前年に助成された小嗣真人氏は新型コロナ流行のため、海外の学会で発表できず、オンラインでの学会参加も無かったため、15万円を返金されました。

(所属は研究助成応募時)

参加国際会議名		研究者		助成額 (万円)
金属材料	2021 Materials Research Society Fall meeting & Exhibit	東京工業大学 科学技術創成研究院	准教授 片瀬貴義	15

(3) 材料に関する研究集会等に対する助成 (定款 第4条 (3))

[令和2年度 材料科学研究集会助成金] の応募を6月30日に行ない8月25日に締切りしました。応募が無かったため、選考委員会(9月7日)において、令和2年度の採択は無しという審議結果を、第35回理事会(9月23日)に答申しました。

(4) その他目的を達成するために必要な事業 (定款 第4条 (4))

令和2年度は「その他目的を達成するために必要な事業」はありませんでした。

II. 処務の概要

(1) 役員等に関する事項

令和3年3月31日現在

職名	常勤・非常勤	氏名	就任(重任)年月日	担当業務	現職
理事長	非常勤	村上 元	令和2年6月15日	法人の業務の総理	日立金属(株) 技術開発本部
常務理事	常勤	野澤 康人	令和元年6月7日	理事長の補佐および日常事務	日立金属(株) 人事総務本部
理事	非常勤	梅田 高照	令和元年6月7日	法人の業務の議決ならびに執行	東大名誉教授
同	非常勤	里 達雄	令和元年6月7日	同	東工大名誉教授
同	非常勤	杉本 諭	令和元年6月7日	同	東北大学教授
同	非常勤	飛世 正博	令和元年6月7日	同	東北大特任教授
同	非常勤	松尾 陽太郎	令和元年6月7日	同	東工大名誉教授
監事	非常勤	藤野 譲	令和元年6月7日	財産状況、理事の業務執行の監査	公認会計士
同	非常勤	中島 伸弥	令和元年6月7日	同	日立金属(株) 財務部長

(2) 職員等に関する事項

該当ありません。

(3) 会議等に関する事項

(i) 理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
【第33回】 令和2年5月18日	<決議事項> 1 令和元年度の事業報告及び計算書類の承認 2 令和2年度事業計画日程変更 3 長期的財団運営の方向性 4 諸規程の改定 5 第11回評議員会の招集決定 <報告事項> 財団運営に関する試算結果 債券に関する報告 理事長、常務理事の職務執行状況報告 資金運用委員の任命	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決
【第34回】 令和2年6月15日	<決議事項> 1 理事長選定 <報告事項> 第11回評議員会で選任された理事、評議員	決議の省略の方法による
【第35回】 令和2年9月23日	<決議事項> 1 第35回材料科学研究助成 一般助成テーマの承認 2 第35回材料科学研究助成 特別助成テーマの承認 3 令和2年度 国際交流助成の承認 4 令和2年年度 研究集会助成の承認	決議の省略の方法による 決議の省略の方法による 決議の省略の方法による 決議の省略の方法による
【第36回】 令和3年3月4日	<決議事項> 1 令和3年度の事業計画および予算書の承認 2 諸規程の改定 <報告事項> 1 内閣府立入検査に関する報告 2 債券に関する報告 3 理事長、常務理事の職務執行状況報告	全会一致で承認・可決 一部決議保留、それ以外は全会一致で承認・可決

(ii) 評議員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
【第11回】 令和2年6月5日	<決議事項> 1 令和元年度の計算書類の承認 2 評議員および理事の選任 3 長期的財団運営の方向性 4 諸規程の改定 <報告事項> 1 令和元年度の事業報告 2 令和2年度の事業計画及び予算書類 3 財団運営に関する試算結果 4 債券に関する報告	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決

(iii) 総会

該当ありません。

(4) 許可、認可、承認、証明等に関する事項

該当ありません。

(5) 契約に関する事項

該当ありません。

(6) 寄付金に関する事項

寄附の目的	寄附者	申込み金額(万円)	領収金額(万円)	備考
研究助成	日立金属株式会社	400	400	

(7) 主務官庁からの連絡事項

連絡年月日	連絡事項	履行状況
令和2年7月7日	事業報告等の修正について	令和2年7月10日
令和2年7月8日	立入検査の日程調整について	令和2年12月9日

(8) その他重要事項

該当ありません。

令和元年度事業報告の附属明細書

令和2年度事業報告書の内容を補充する重要な事項はありません。